

ハクサンサステナ給食プロジェクトとの意見交換会で寄せられた意見（令和5年9月協議）

（テーマ）

・学校給食について

No	ハクサンサステナ給食プロジェクトからの主な意見	常任委員会での協議内容
1	<p>学校給食を全て有機にすることは労力がかかるが、学校給食が特色あるものになれば、人口増にもつながるのでは。</p>	<p>①有機食材の使用については、量の確保や価格の面などが導入への課題となっていますが、県の協力によりまして、低農薬低化学肥料の特別栽培米コシヒカリである千代の里、比咩の米を全ての小・中学校で提供することとなっています。</p> <p>②学校栄養士と学校給食への提供が可能な生産者の産地見学と交流会事業も毎年行っており、今後もこの交流会を継続するとともに、学校給食への提供が可能な有機農産物の農家がいましたら、交流会を通して学校と農家のマッチングを行い、学校との連携を図っていきます。</p>
2	<p>松南小学校では食育フェアを開催するなど、保護者や地域の方が一体となって食育に力を入れている。そういった取組を知らない方が多いと思うので、もっと取り上げてほしい。</p>	<p>松南小学校での食育フェアは、コロナの影響もあり、令和2年度より開催していませんが、現在も食育を推進し、各事業で取り組んでいます。今年度は児童と地域の方が生産したモチ米を使用し、PTA活動として餅つきをするなど、一体となった食育を行っており、学校だより等でお知らせしています。</p>
3	<p>子どもたちが米や野菜を実際に育てて大変さを知るなど、育てること、食べることは教育につながると思う。そのような取組を保護者も一緒にやっていけるように、学校が主催して、大人も巻き込んだ活動ができないか。</p>	<p>米や野菜を育てること、食べることは、生活科や家庭科などの各教科等の学習内容になっています。また、各校においては地域の方などをゲストティーチャーに呼んで生産の現場を見学したり、一緒に田植えを行ったりと、保護者を巻き込んだ活動に取り組んでいる学校もあります。</p>
4	<p>給食無償化によって、質の低下につながらないようにしてほしい。また、給食のオーガニック化に関する子供の意見も聞く必要があるのではないか。</p>	<p>給食の食材については、給食物資選定委員会で安心安全な食材を選んでおり、農作物についてもなるべく白山市産を取り入れるようにしており、今後も現在の</p>

		<p>食育の質を維持したいと考えています。 また、今後有機米の特別給食を実施することにしており、各家庭にアンケートも予定しています。</p>
--	--	--